

議 事 録

(社)日本鑄造工学会 北海道支部
非鉄鑄物の高度化技術研究会

第2回ダイカスト技術研究会

開催日時

平成20年7月18日(金) 13時30分～17時

開催会場

アイシン北海道(株) (苫小牧市柏原 32-5)

議事内容

1. 主査あいさつ

研究会主査の山田一明氏(ホクダイ(株))から挨拶があり、今回の研究会の主な内容と進め方の説明があった。また、次回以降の研究会のスケジュールと内容に関する提案があった。

2. 会社概要説明

今回の会場提供工場であるアイシン北海道(株)の山崎真一氏から、同社の会社概要の紹介があり、環境に配慮した工場という工場設立のコンセプトから、工業用水のリサイクルや省エネルギーの取り組みなども併せて説明があった。

3. 改善事例紹介

1) アイシン北海道(株)

引き続き、アイシン北海道(株)の山崎氏から、同社で取り組んだ生産ラインの改善事例として、ダイカスト装置のメンテナンス作業時の安全対策と、検査装置の無駄を省くことで納期や故障の低減に効果のあった事例が紹介された。

2) ホクダイ(株)

ホクダイ(株)の高田公一氏から、製品の品質向上を目的に取り組んだ真空引きや方案改変による不良率の改善効果について報告があった。

それぞれの改善事例の発表の後、質疑応答が行われた。

4. 工場見学

見学に先だって、アイシン北海道(株)の山崎氏から工場見学の順路説明があり、その後、順路に従って生産工場内のダイカスト鑄造ライン、検査工程、型保全、溶解・溶湯搬送などの見学を行った。再び大ホールに戻って質疑応答を行い、床面塗装の色分け、鑄造後の冷却、溶湯搬送容器のメンテナンスなどについて質疑が交わされた。

5. その他

道立工業試験場などが申請した事業の採択が決定したことにより、近々にX線CT解析装置が工業試験場に導入される見通しであることが紹介された。

次回予定

第3回研究会は、平成20年11月20日に開催する予定とした。